８，転居とその理由

透析導入以降，調査時までに転居した者は35 人（29.2%）である．そのうち，転居理由から，直接あるいは間接的に透析患者となったことと関連があると判断されたのは 18 人（15.0%）である．そして，特には関連を認められなかった転居は17 人（14.2%）であった．

透析と関連した転居理由では,「透析施設の近くに引っ越した」,「からだが悪くなったので実家の近くに引っ越した」,「家庭透析をするために狭かったので引っ越したこと」があげられていた．また，透析導入によって，職業が変化したり，離婚したことも，転居の理由であった．前者についていえば，そのひとつは，会社を辞めたことで，社宅・寮や官舎を出ねばならなかったことである．そして，経済的な理由から，都営住宅へ移ったり，生活保護を受けるために不動産を処分し賃貸住宅に引っ越していた．また，仕事を求めて，転居した者もいる．

他方，透析と関連のない転居の主な理由は，家族の増加や子供の成長によって手狭になったこと，人事異動など会社の都合による転勤，結婚であった．